



生涯学習の理念～さっぽろで 学ぶ・活かす・つなぐ～

この通信の第 2 号で、「生涯学習って何?」というテーマを取り上げ、多様な活動として行われる「生涯学習」について説明しました。

昨年 12 月に改正された教育基本法では、「生涯学習の理念」の条項が新設され、第 3 条で次のように定められました。

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

札幌市でも、これまで、生涯学習をどのように支援していったらよいか、市民の皆様とともにその方向性について検討してきたところですが、このたび、「さっぽろで 学ぶ・活かす・つなぐ」という検討会議の委員の思いもあわせた「第 2 次札幌市生涯学習推進構想」の策定に至ることができました。

今後、教育基本法で謳われた生涯学習の理念を踏まえ、「さっぽろで 学ぶ・活かす・つなぐ」生涯学習社会の実現に向け、札幌市として様々な取り組みを進めていきたいと思いをします。

パブリックコメント手続の実施結果

平成 19 年 1 月 5 日（金）から 2 月 5 日（金）までの 32 日間、第 2 次札幌市生涯学習推進構想素案を公表し、市民の皆様からの意見を募集しました（パブリックコメント）。その結果、14 名（団体を含む）の方から 24 件のご意見をいただきました。

第 6 回検討会議開催結果

平成 19 年 2 月 23 日（金）最後となる第 6 回検討会議が開催されました。

上述の構想素案に関するパブリックコメント手続の実施結果について、事務局から説明し、その後、意見交換が行われました。

（意見、感想の抜粋）

- ・ 30 代 40 代の市民については、余り時間もなく、生涯学習を行うのが困難な時期にあたるが、パブリックコメントでの指摘のように、やはりメンタルヘルスや子育てのことなど、この世代における生涯学習の充実が求められている。今後、こうした意見を具体的な展開の中で生かしていただきたい。
- ・ 今回こういう形で構想がまとまって、ここから細かい輪ができて上がって、人々がみんな喜んで学んでいくようになったら、それはすばらしいことだと思う。
- ・ 札幌市は、人材や施設やコンテンツに恵まれた状況にあるので、今回この構想ができれば、かなり充実したものが実施できるのではないかなと期待している。



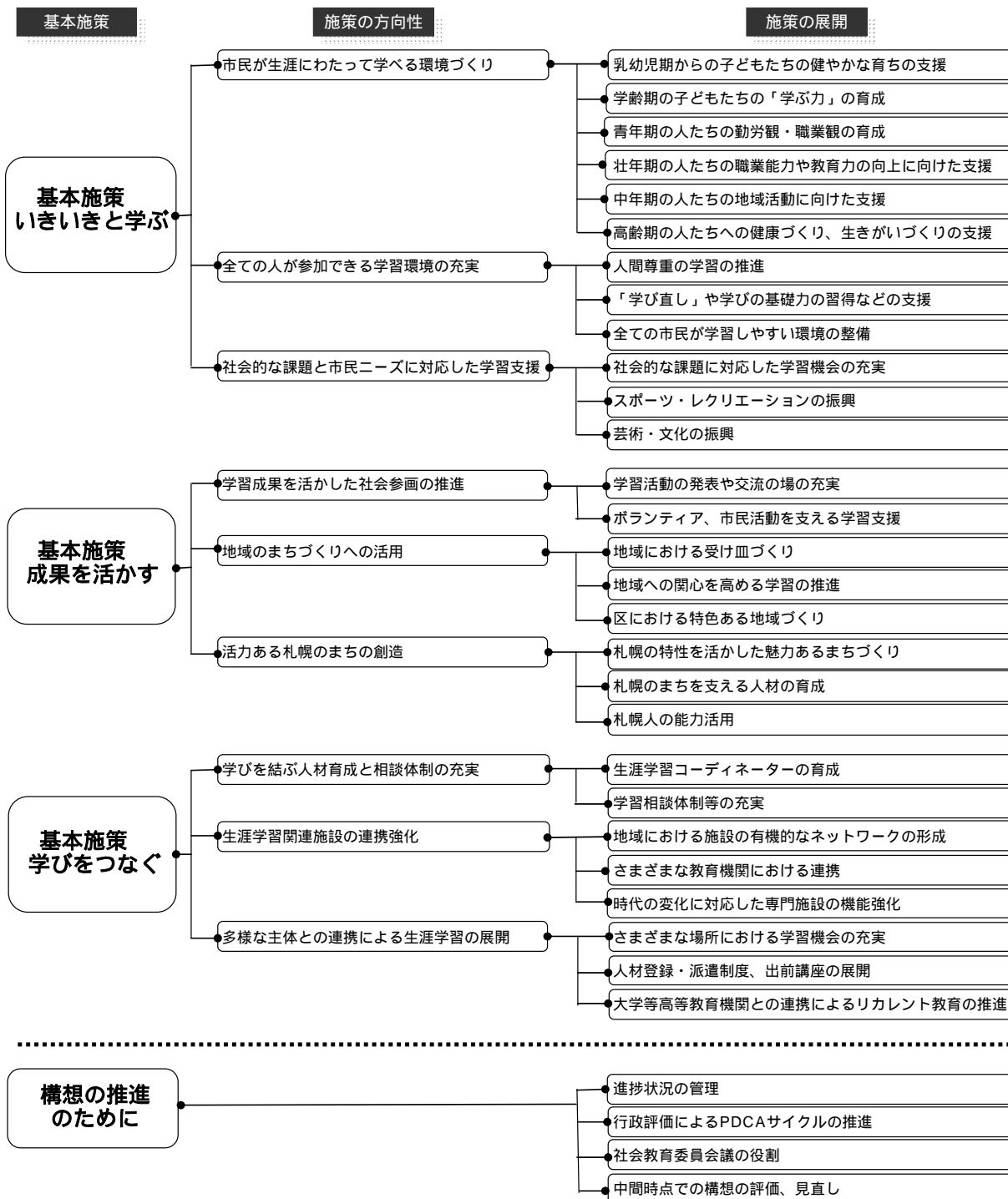
第 6 回札幌市生涯学習推進検討会議

第 2 次札幌市生涯学習推進構想決定

検討会議での議論やパブリックコメント手続を通じて、市民の幅広い意見を反映し、平成 19 年 3 月、第 2 次札幌市生涯学習推進構想を策定しました。

「いきいきと学ぶ」「成果を活かす」「学びをつなぐ」の 3 つを基本施策に掲げ、これらの基本施策に連なる施策の方向性と施策の展開を定めています。

第2次札幌市生涯学習推進構想 施策体系表



今後、構想の推進にあたっては、この体系に沿って事業を展開していきます。その際、関連事業の実施状況について適宜公表していきます。

【第2次札幌市生涯学習推進構想の公開】

策定の経過、構想の内容につきましては、ホームページ「札幌市の生涯学習」で公開しています。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoiku/>

「まなべあー通信」では、新たな生涯学習推進構想策定に向けた取り組みをはじめ、「生涯学習」に関わる様々なテーマを取り上げてきました。これからも、様々な形で、札幌市の生涯学習推進に向けた取り組みを発信していきたいと思ひます。